

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業
放射線療法の提供体制構築に資する研究(21EA1010)
研究代表者 大西 洋

分担研究課題

核医学治療の適切な提供体制の検討

「核医学治療核種の使用能力に関する検討」

研究分担者 細野 真(近畿大学)

研究分担者 東 達也(量子科学技術研究開発機構)

研究分担者 絹谷清剛(金沢大学)

まとめと次年度への提言

- 1) 全国の核医学施設を持つがん連携拠点病院など220施設余に既存核種の使用予定数量、排気・排水・空气中濃度などについてアンケート調査を実施し、130施設の回答を得た。
- 2) そのデータから新規核種の使用可能量を評価・集計し今後の核医学治療の提供体制構築に向けた資料とした。
- 3) 2023年度は個別的に施設アンケートを追加し課題を洗い出すと同時に、使用数量を増やすための施設能力の合理的な評価法を検討する。

大西班分担課題「核医学治療核種の使用能力に関する検討」 細野、東、絹谷

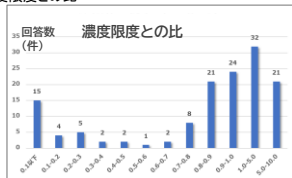
1

2

1日、3月間、年間最大使用予定数量の平均値

平均値	1日最大使用予定数量 (MBq)	3月間最大使用予定数量 (MBq)	年間最大使用予定数量 (MBq)
Sr-89	285.395	5014.944	19342.608
Y-90	3643.698	26211.663	97717.386
I-131	7513.478	387752.230	194614.126
Lu-177	17469.231	237926.154	1037970.370
At-211	1425.000	9775.000	39100.000
Ra-223	19.865	349.164	2292.021
Ac-225	240.333	739.500	2958.000

排水について濃度限度との比



大西班分担課題「核医学治療核種の使用能力に関する検討」 細野、東、絹谷

3